

プログラム

【1日目】9月9日（土）

受付開始（12：30～）

開会の辞（13：25～13：30）

実施委員長：倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 三宅 康之

教育講演1（13：30～14：30）

座長：熊本保健科学大学 保健科学科 医学検査学科 南部 雅美先生
「子宮頸癌取り扱い規約の改定」

岡山大学病院 病理診断科 柳井 広之先生

教育講演2（14：30～15：30）

座長：神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科 畠 榮先生
「新しい細胞診報告様式：呼吸器」

香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部 羽場 礼次先生

— 休憩（15：30～15：40） —

セルフアセスメントスライド（15：40～17：40）

細胞検査士会学術委員会・精度保障委員会担当

司会：古田 則行（がん研究会有明病院 臨床病理センター）

問題・解説：大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 竹中 明美先生

聖マリアンナ医科大学病院 病理診断科 島田 直樹先生

【2日目】9月10日（日）

日本臨床細胞学会技師賞受賞記念講演（9：00～10：00）

座長：日本臨床細胞学会細胞検査士会 会長 伊藤 仁先生

「リンパ節病変の細胞診」—液状化検体細胞診（Liquid-based cytology; LBC）

と Double-hit lymphoma の細胞像を中心に—

東海大学医学部附属病院病理検査技術科 加戸 伸明先生

教育講演3（10：00～11：00）

座長：九州大学医学部 保健学科 病態情報学講座 杉島 節夫先生
「新しい細胞診報告様式：泌尿器」

白十字病院 臨床検査科

大谷 博先生

— 休憩（11：00～11：10）—

教育講演4（11：10～12：10）

座長：倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科

三宅 康之

「新しい細胞診報告様式：甲状腺」

隈病院 病理診断科

廣川 満良先生

— 昼食（12：10～13：10）—

教育講演5（13：10～14：10）

座長：国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科

佐藤 信也先生

「新しい細胞診報告様式：脾臓」

鳥取大学医学部 保健学科 病態検査学講座

広岡 保明先生

— 休憩（14：10～14：20）—

特別講演（14：20～15：00）

座長：エスアールエル福岡ラボラトリー検査統括

西 国広先生

「これからの細胞検査士に期待するもの」

～国民、患者の視点を踏まえて、国政の場から考える～

参議院議員、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会代表理事会長

（長野県立木曽病院特別顧問）

宮島 喜文先生

ワークショップ（15：00～16：00）

「日常検査におけるLBC法の運用」－良い点と注意すべき点－

座長： 関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

矢野 恵子先生

藤和会藤間病院 病理検査

大塚 重則先生

「子宮頸部」

臨床病態医学研究所

関本 哉恵先生

「子宮内膜」

大阪済生会野江病院 検査科

小椋聖子先生

「泌尿器」

岩国医療センター 臨床検査科

佐藤 正和先生

閉会挨拶（16：00～）

日本臨床細胞学会細胞検査士会 副会長

小松 京子先生